

### ニュースから考える

ある新聞のコラムで有名なジョークを紹介していました・・・



大富豪が「もしも青いキリンを見せてくれたら莫大な賞金を出そう。」と言いました。それを聞いたそれぞれの国の反応は如何に？

イギリス人はそんな生物がいるかどうか議論を始め、ドイツ人は図書館へ出かけて文献を調べ、アメリカ人は軍を世界中に派遣して探し回った。

一方、日本人は品種改良の研究に乗り出し・・・

中国人は青いペンキを買いに出かけた。

・・・このジョークが一夜で違和感に変わった「ドイツのものづくりは堅実性や信用を旨とするはずなのだが、独自動車大手フォルクスワーゲンが排ガス規制を不正に逃れ、青いペンキに相当するソフトウェアを仕込んだらしい。その結果、環境先進国という看板は大きく損なわれるだろう」と新聞のコラムは指摘しています。

「低燃費のクリーンディーゼル」と宣伝し世界中で売上を伸ばすが、その実態は基準値の40倍もの有害物質をばら撒く疑惑の車を販売して儲ける・・・いかがなものでしょうか。

### 1分でわかる業務カイゼン

#### 「偽装」問題

数年ごとに偽装というキーワードでニュースが報じられます。自動車業界に目を向けるとフォルクスワーゲンのほかに現代自動車の「燃費」偽装、国内では今年3月に発覚した東洋ゴムの「免震ゴム偽装」、2年ほど前は「食材・産地偽装」が話題となり、数年前の「耐震偽装」では念願のマイホームを手に入れた人を不安にさせました。世界中が注目しているシリア難民も3割は国籍を偽装していると言われていいます。なぜ人は真実を隠し「偽装」するのでしょうか・・・。

#### 「儲かる」仕組み？

たとえば「消費期限」の偽装を考えて見ましょう。廃棄すべき商品が売れば会社はとても儲かります。「食材・産地偽装」では安く仕入れた商品が高値で売れ儲かります。「耐震」偽

装では鉄骨などの材料が少なく済み儲かります。

つまり適正以上にもっと「儲けたい」「得したい」との思い、つまり「欲」が原因の一つと考えられます。



#### 「誰のために」にビジネスをするか

コンプライアンスが求められる昨今なのに、優秀な経営者や社員がいる企業においてなぜリスクを抱える「偽装」が行われるのだろうか・・・との疑問が生じます。

東芝の「決算」偽装、東洋ゴムの「品質」偽装でも「企業風土」に問題があるとの意見があります。今回のフォルクスワーゲンの偽装も価格競争、低燃費競争に勝ち残るため原価削減のため、つまり安く車を作り高く売って儲けようと考えた事が原因であるとの指摘がある一方、経営陣の主導権争いからの業績拡大の為だとのニュースもあります。

自己保身、競争に勝つ、都合の悪い事は隠したいと言った人の感情が悪い風土を作りあげたのでしょうか。いずれにしても「消費者」の顔を見ていないのは間違いないでしょう。

「儲けは必要」

先ほどから「儲けの」悪い点を書いています。儲けは悪いと勘違いしないで下さい。悪い儲け方が問題なのであって適正に儲ける事は必要です。なぜなら、会社を維持し将来のために利益(儲け)は不可欠だからです。

企業が存続するために「必要な儲け」と「欲からくる儲け」は全然違います。適正な方法でお客様によるこんで頂きながら儲ける事が理想です！

## 事務所からのお知らせ

- ・マイナンバーが10月より皆様の手元に届きます。年末調整の資料を集めるときに社員さんのマイナンバーが必要になります。収集方法等は担当者にお尋ねください。
- ・会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知り合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。



今月の目標数値 : 自己資本比率 30% ( 資産 = 他人のお金 70% + 元手 30% )  
興味のある方は担当者にお聞き下さい。

## 今月のことば

人間は偽装と虚偽と偽善にほかならない。

自分自身においても、また他人に対しても。

パスカル (17世紀フランスの哲学者・数学者・物理学者)

編集後記:

今月のテーマは「偽装」ですが、すべてが万事、正直にやっていると大きな声で言える会社はそう多くは無い筈です。昔、ある有名な市場のお店を担当していた時にその社長は「この蟹送って」とお客様の要望に「ありがとうございます」と笑顔で返事をし実際は数日前から店頭には並べている駄目になる寸前の蟹を送っていました。「たま～に臭くなったのがばれるけどね！」と悪びれず言っていたのを思い出します。我が身を振り返れば心が痛む事もありますので今月は偽装をテーマに反省です。(寿)

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合 (TKCが証明するデータを使用しています)

最近1年間 : 68.8% 黒字決算を目指しましょう!